

伊能図探究

—グリニッヂ小図特集—

NO 5

平成7年8月1日
伊能日本図探究会

英国グリニッヂ国立海事博物館蔵

伊能忠敬の大日本沿海実測全図 小図（全三舗） の複製が完成しました

英國の測量艦隊が幕末に日本近海を測量した際に、作業に協力し、摩擦を防ぐため、同乗した幕府役人が持っていた伊能図を、司令のワード中佐が見て正確なのに驚き、その地図を貰い受け、測量せずに帰ったという話は広く知られている。大正の初期に当時の帝国学士院長長岡半太郎博士が紹介してから、色々な著書で引用されて有名になった。この話は事実とは少し違っているが、そのとき、英艦に渡された伊能図が英國グリニッヂの国立海事博物館に現存する。

今回、伊能図探究会で制作した伊能図三舗（日本古地図学会発行、B全版4枚）は、グリニッヂの国立海事博物館の承認を得て、同図を複製したものである。幕末に英國に渡った伊能図は正確にいうと、伊能忠敬測量グループ制作の文政四年最終上呈の、大日本沿海実測全図小図（いわゆる伊能小図）である。伊能小図は、大きさが適当であること、伊能図の特徴を良く備えていることから、伊能図を理解するのに適当であるが、日本には残念ながら3舗完全揃いは存在しない。

英艦に交付された図は、写しとは云え幕府軍艦方が所蔵していたものであり、伊能グループによる制作が明らかであって、準公式な伊能図と考えられる貴重な存在である。伊能忠敬生誕250年を記念し限定部数複製した。御关心のある向きはお問い合わせ下さい。

複製図は、英國の国立海事博物館に依頼して撮影した原板により、カラー複製したものである。B全版4枚に分割収載した。蝦夷地、本州中部、西南部の3舗のうち、日本では見ることができない本州中部は、記入された文字がよめる大きさに、3分割し、蝦夷地・西南部については全貌がわかるサイズでB全版1枚に収めた。

文政四年（1821）上呈の最終版伊能図は、大、中、小図の三種類あって、大図は縮尺1:36,000、全国を214枚でカバーする。現在では殆ど散逸している。中図は縮尺1:216,000、全国を8枚に描く。幕府提出図は失われて存在しないが、諸侯の依頼で作られた副本の揃いが、成田山仏教図書館、東京国立博物館等に残っている。最近、フランスにも中図の完全揃いがあることを確認した。小図は縮尺1:432,000、全三枚からなる。いずれも、手書き手彩色の地図で、記入項目に精粗があるが、美麗かつ精緻なものである。

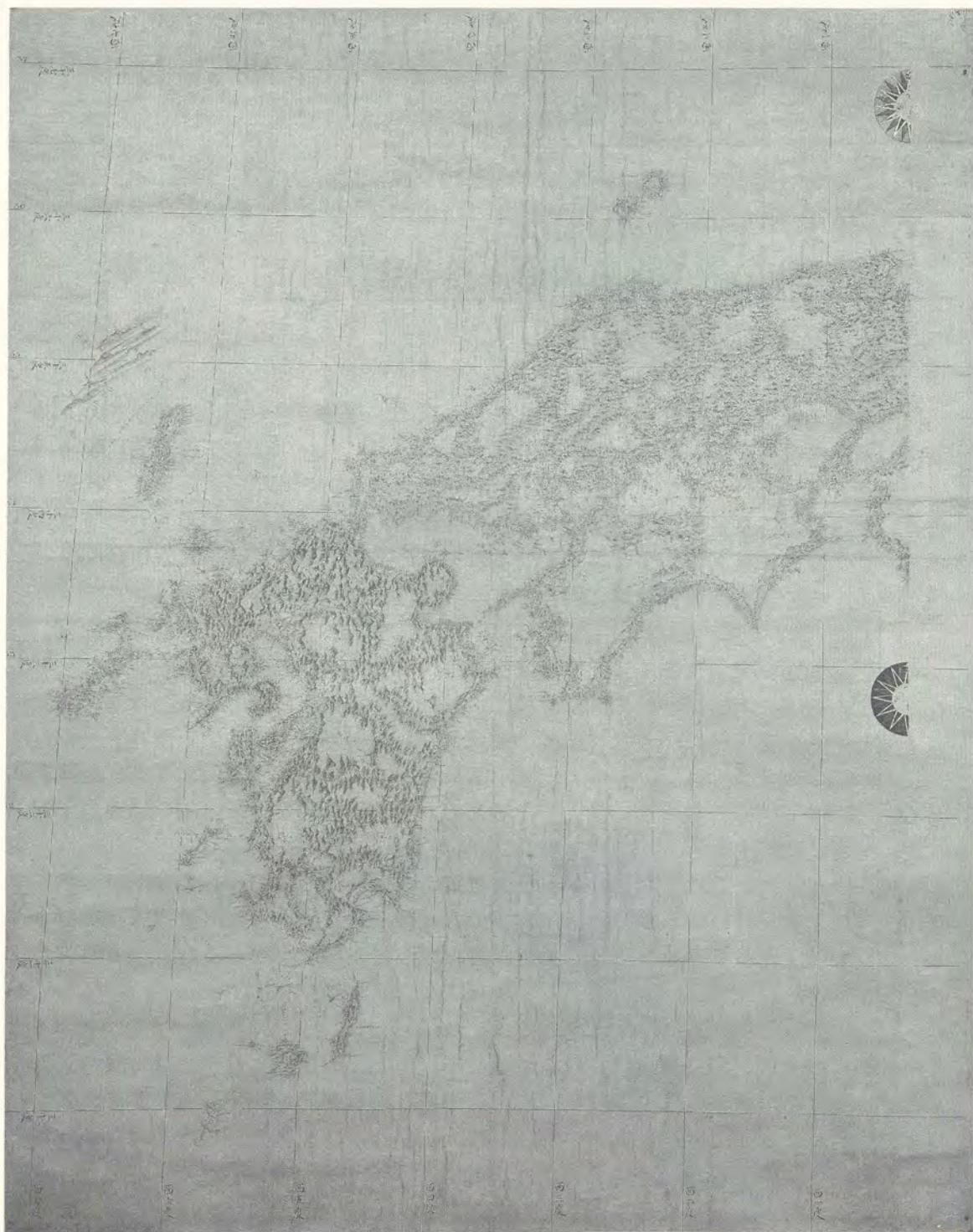


図1 英国グリニッヂ国立海事博物館蔵 伊能小図 日本西南部
本図は神戸市立博物館にも写が所蔵されているが、描図には若干の差がみられ、
国名の赤枠の彩色が神戸小図と違っている。

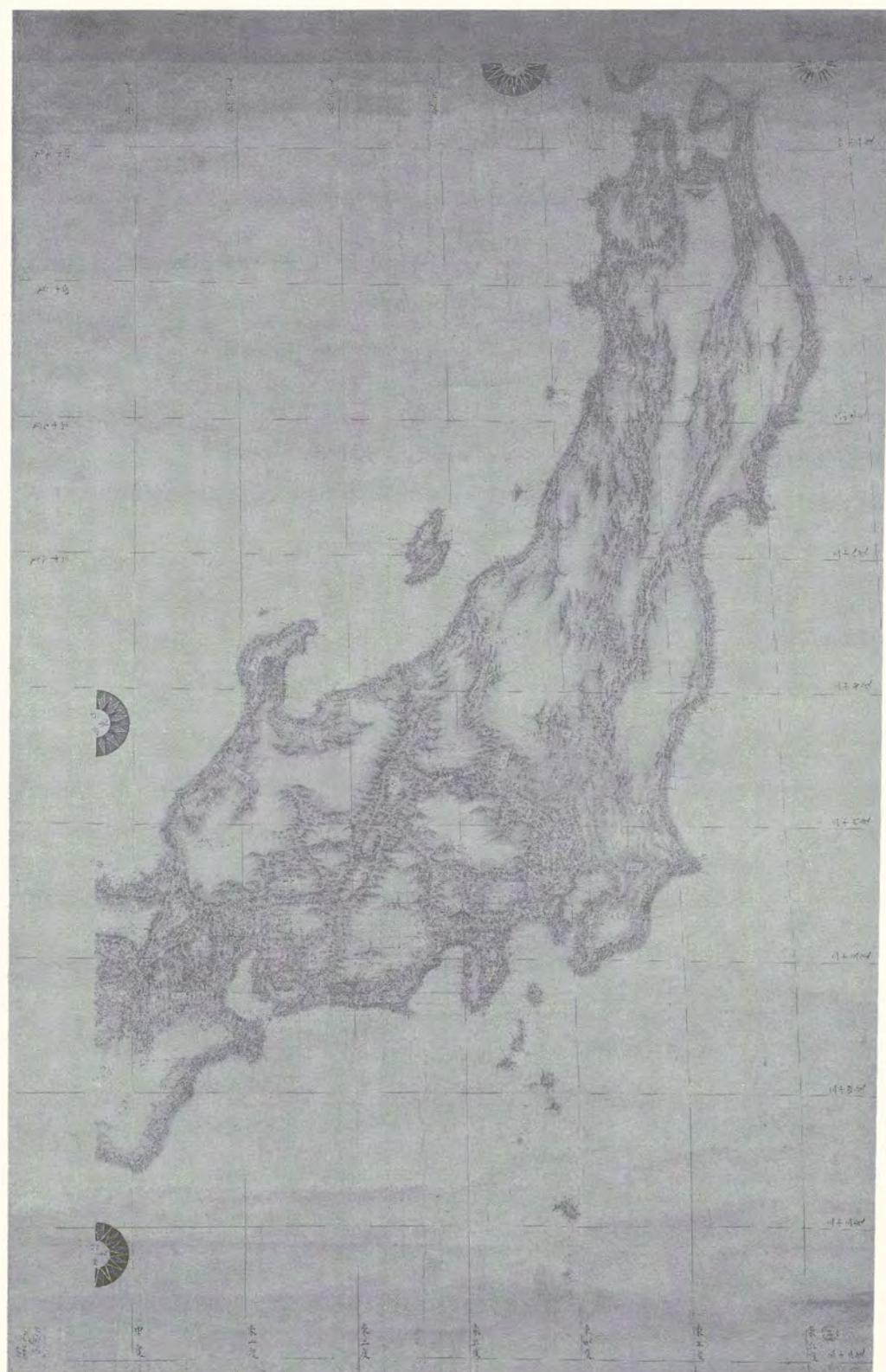


図2 英国グリニッヂ国立海事博物館蔵 伊能小図 本州中部
関西以東の本州の図である。日本には現存しない稀図である。本邦初公開。

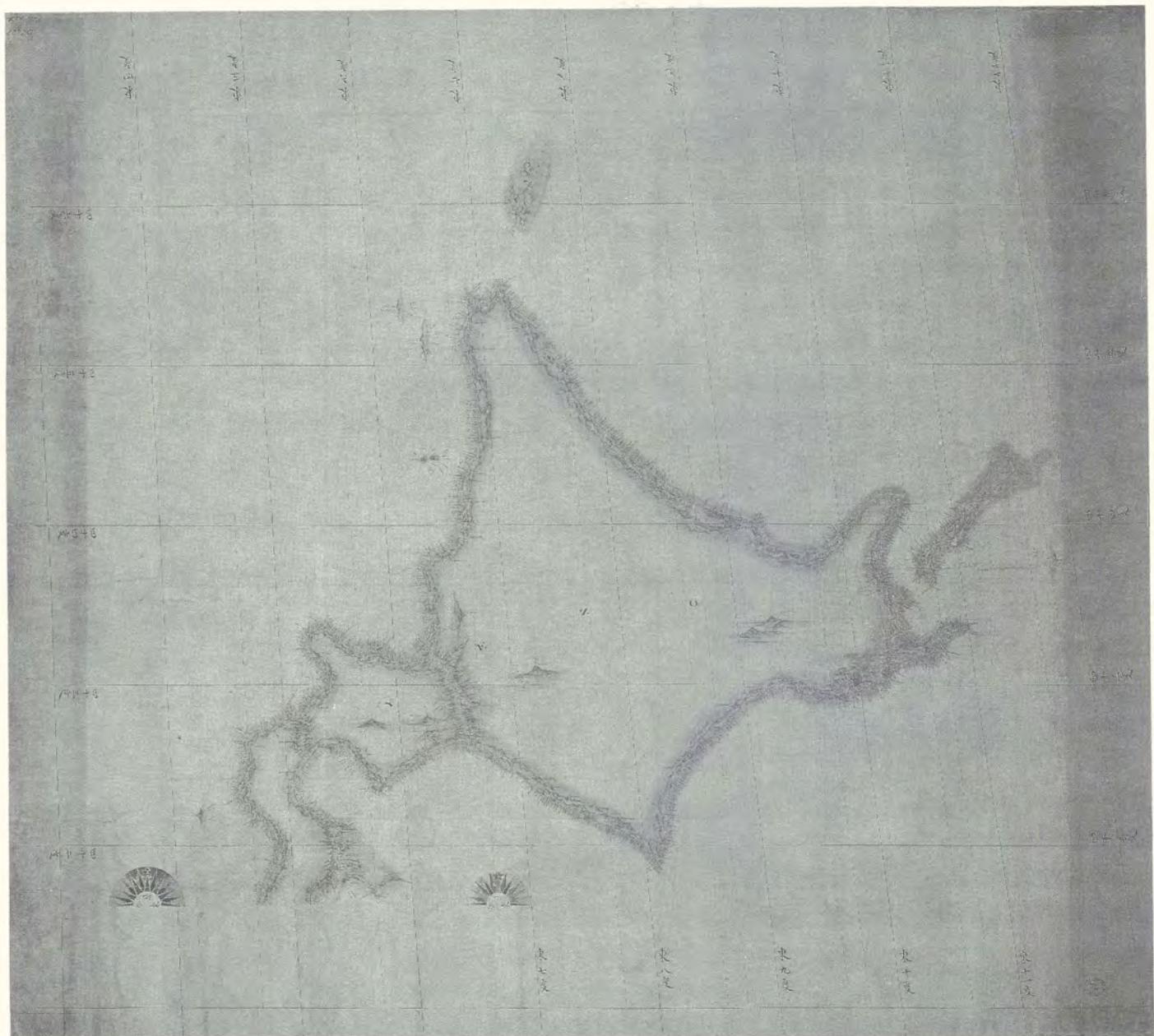


図3 英国グリニッヂ国立海事博物館蔵 伊能小図 蝦夷地
本図は神戸市立博物館にも写を所蔵するが、描図、彩色に若干の差がみられる。

文政4年上呈の最終版伊能小図について

1. 所 在

今般複製した英國グリニッヂ國立海事博物館藏の伊能小図は、伊能忠敬が没後完成をみた最終版伊能小図である。本図は英國に渡ったもののほかに、神戸市立博物館に本州中部を除く2舗が存在する。また、秋岡博士によると、幕末の老中阿部正弘の後裔の阿部正道氏が蝦夷図1舗を所蔵されるという。これは、幕末に必要のため作られたものといわれる。神戸市立博物館の小図は、南波松太郎氏が昭和31年に神田の大屋書店から購入されたもので、伝来は不明である。

本図は完成度の高い伊能図でありながら、上記3図のほかに存在が確認されていない希図である。幕府への提出図は明治初年の皇居炎上で失われ、代わって伊能家から献上された副本は、東大で保管中に関東大震災で滅失した。

大谷亮吉氏は大著「伊能忠敬」(大正6年)のなかでは、浜松の内田令太郎氏が足立信頭の後裔のもとに伝えられたものを近年購入した小図があると云う。これを見て、秋岡博士は昭和42年時点の論文で、内田氏の図は子息の六郎氏により、第2次世界戦争以前に江田島の旧海軍兵学校に寄贈された。昭和30年代に南波氏が旧海兵を引き継ぐ海上自衛隊第一術科学校で調べてもらったが、見当たらなかったという。

それでも万一に期待して、平成6年に、筆者は大学同期の畏友で海上保安大学名誉教授の谷村聖二郎氏を煩わし、海事関係の知縁を生かして、戦後の海兵資料の疎開先の巖島神社、大山祇神社まで追いかけて徹底的に再捜索して頂いたが、やはり出てこなかった。終戦時のドサクサまたは戦後の呉の大水害で滅失したと考えざるを得ない状況である。ついでながら、そのとき判明したのは、終戦時の海軍の重要な資料は東郷元帥の書をはじめとする提督連の遺品であって、伊能小図は貴重品扱いになっていないことである。寄付した内田氏は永久保存を意図したと考えられるが受け取った海軍はそう思っていなかったようである。もし、旧海兵の教育参考館に貴重書として登録されていれば、終戦後も東郷元帥の書と同様に今に伝えられていたであろう。これに反して、英國海軍は受領したときから貴重品扱いで、用済み後、ダートマスの海軍兵学校となりの國立海事博物館に永久保管している。当時の海兵には眞眼の海軍士官はいなかったことになる。

幻の内田小図のほかに、大谷氏著書は大槻如電所蔵の小図があると言い秋岡博士は大槻氏の図は静嘉堂文庫に伝えられていることを示唆する。しかしながら、伊能図探究3号に述べるごとく、静嘉堂文庫にあるのは伊能小図ではなく、カナ書きの伊能特別小図(縮尺小図の1:2)である。

かくして、最終版伊能小図は前記の3点しかなく、完全揃いは英國の小図しか確認されない。それと思われる図がありましたら、是非ご教示を賜りたい。

2. 縮尺、地図サイズ

縮尺は他の伊能小図と同様で1:432,000である。曲尺3分を1里とする。
地図のサイズは以下のとおり。いづれも軸装はされていない。

(1) 神戸市立博物館所蔵図 (神戸市立博物館地図目録による)

| | |
|-------|-------------------|
| 蝦夷地の部 | 161.6Cm * 181.1Cm |
| 本州西南部 | 162.1Cm * 203.5Cm |

(2) 英国グリニッヂ海事博所蔵図

(保柳著書のデータと写真から推定) (英国の論文より)

| | | |
|-------|---------------|---------------|
| 蝦夷地の部 | 165Cm * 183Cm | 165Cm * 185Cm |
| 本州中部 | 165Cm * 261Cm | 165Cm * 259Cm |
| 日本西南部 | 165Cm * 197Cm | 165Cm * 211Cm |

3. グリニッヂ小図の特徴

- (1) 表題、識語、凡例、はない。その他、地図項目以外の書き込みはない。
- (2) 記入項目は、国名、国界、郡名、郡界、河川、著名な山岳岬などの目標、測線、地名、方位線、港、である。天測箇所の表示は見当たらない。
- (3) 幕府軍艦方にあったもので準公式図である。作成時期は少なくとも1861年以前である。針穴の有無は現物を見ていないので確認していない。
- (4) 国名は四角な朱の二重線、郡名は朱の一重線により囲む。神戸市立博の小図は国名の四角なラベルを朱で塗りつぶすので、派手であるが、グリニッヂ小図は朱の2重線のみで塗りつぶしはない。
- (5) 各図共、英國海軍水路部の1864.4.11.の日付印が明瞭に押印されている。
裏面に当時の英國公使オールコックが日本政府から贈られたもの、との記載があるという。幕府から渡された小図であることは確かである。
- (6) 記入項目の精粗：海岸、沿海の測線に沿った村々は、○○村と書かず、名称のみをしるす。スペースの節約とおもわれる。地名は中図と対比すると、若干の省略がある。国名と主要な地名、海岸の目標にローマ字でカナが振られている。あとから記入されたものである。
- (7) 東京湾から東海道沿岸、津軽海峡付近に鉛筆で方眼が記入されているが、これは海図に引き写す際、書き加えられたものである。
- (8) 手書き、手彩色。彩色は濃く鮮明である。
- (9) 保存状態良好で虫食いなどは少ない。

4. 参考文献

- 1) 日本古地図集成 (日本地図作成史 第6編日本地図作成史上の若干の事項)
秋岡武次郎編著 鹿島出版会 昭和46
- 2) 「伊能忠敬」 大谷亮吉 岩波書店 大正6
- 3) 伊能忠敬作成の日本諸地図の現存するものの若干 秋岡武次郎
地学雑誌76巻6号 昭和42
- 4) 伊能忠敬の科学的業績 保柳睦美 古今書院 昭和49

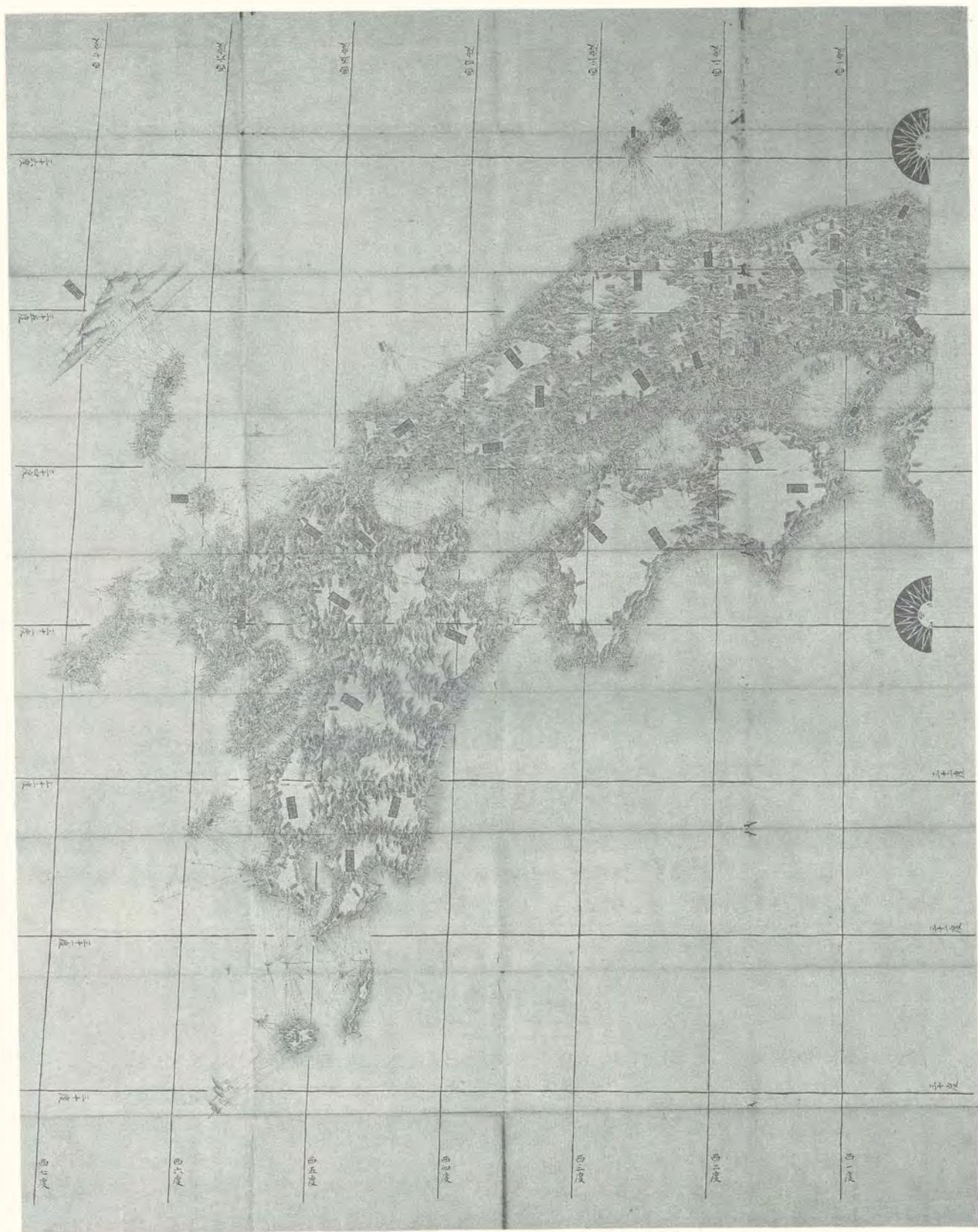


図4 神戸市立博物館蔵 伊能小図 日本西南部
美麗な地図である。国名の赤枠が目立つ。針穴はないが良質な図である。

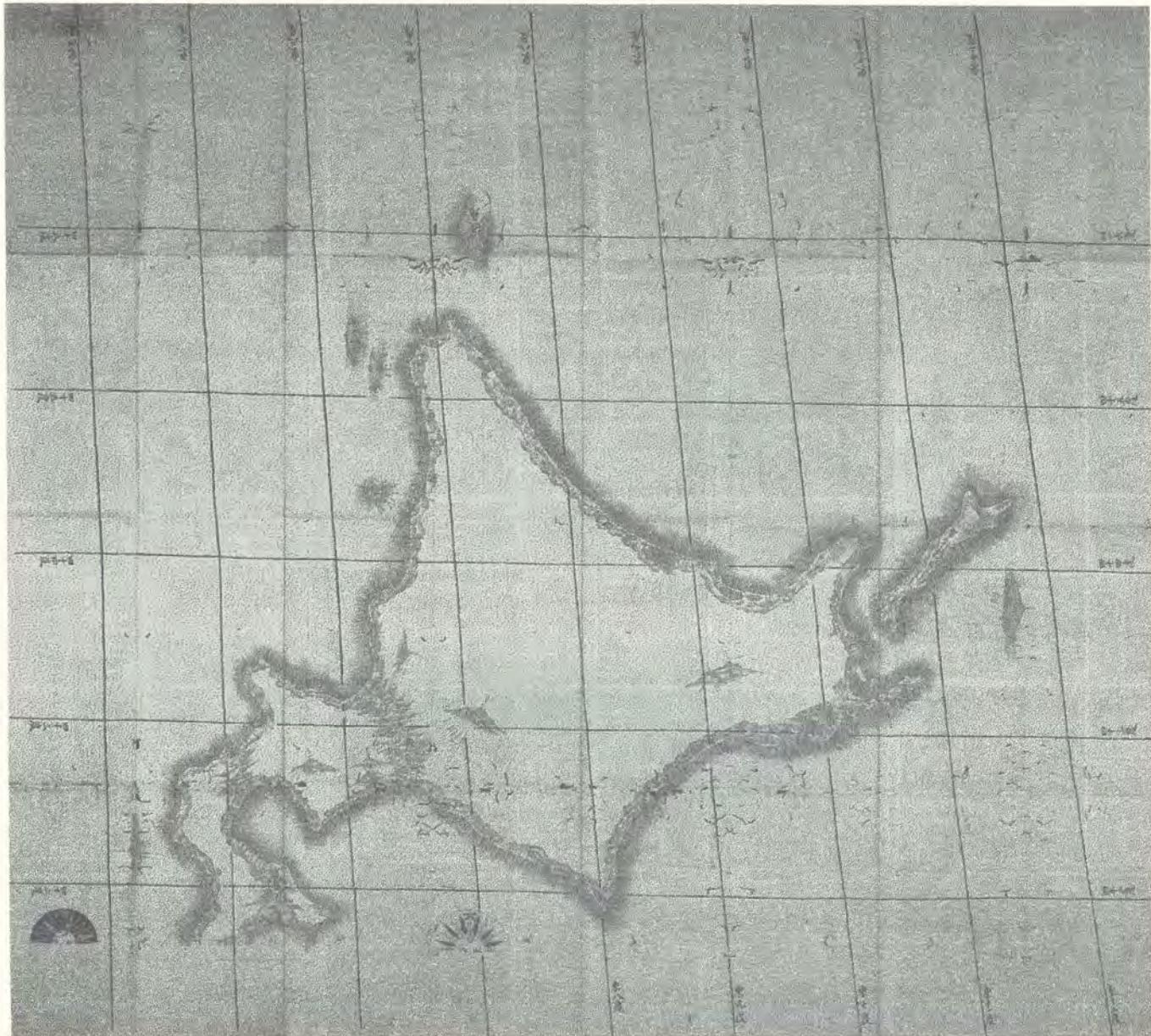


図5 神戸市立博物館蔵 伊能小図 蝦夷地
日本西南部とセットになっている。針穴はないが良質な図である。

編集後記

文政4年版伊能小図の特集になりました。知られているのは、このほかに蝦夷図が1枚あるだけです。どこかに同じような図がないものでしょうか。グリニッヂの小図を御希望の方はFAXで当会にお問合せ下さい。

伊能図探究 No.5

発行 平成7年8月1日

編集発行 伊能日本図探究会 代表 渡辺一郎

撮影協力 小山 弥雄

所在地 東京都文京区本郷1-27-8-A1007

TEL&FAX 03-3818-0792

(昼間 TEL 03-5261-1801 FAX 03-5261-1803)